

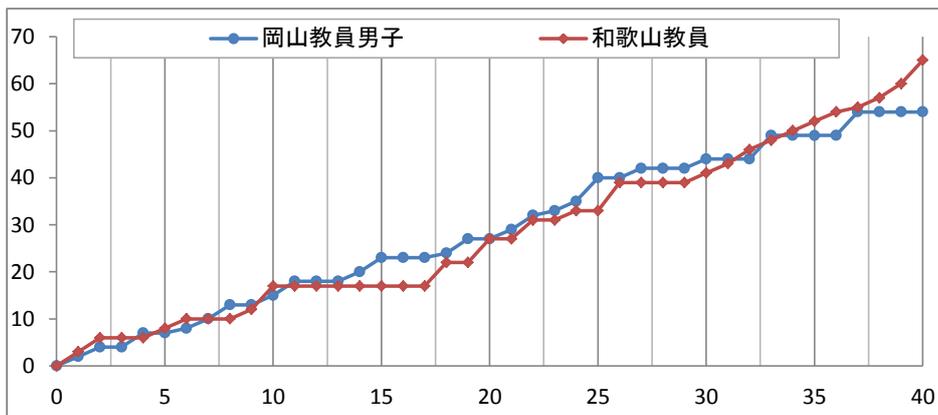
東日本大震災復興支援 第52回男子全日本教員バスケットボール選手権大会 (第70回国民体育大会バスケットボール競技リハーサル大会)

男子3回戦 **岡山教員男子 54** **65 和歌山教員**
(岡山県) ● ○ (和歌山県)

主審 塚本 圭右
 副審 大野 哲広



No. 13C-1 日時: 2014年8月13日(水) 10:00 会場: 和歌山ビッグホエールCコート



岡山教員男子

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
6	菅野 彰人	-	-	-	-	-	-	-
8	* 豊福 一步 (C)	15	0	6	3	1	2	5
9	小田 直人	-	-	-	-	-	-	-
11	* 田淵 徹	4	0	2	0	2	4	0
15	古田 直也	-	-	-	-	-	-	-
16	* 山本 幸広	2	0	1	0	1	4	0
17	* 大久保 弘昭	5	0	2	1	4	7	1
20	井上 武士	-	-	-	-	-	-	-
21	森 大晃	-	-	-	-	-	-	-
23	岩永 佳之	-	-	-	-	-	-	-
24	竹内 大志	0	0	0	0	3	15	0
31	江藤 充輝	-	-	-	-	-	-	-
34	* 白石 誠	28	7	3	1	4	8	0
76	玉城 孝	-	-	-	-	-	-	-
コーチ 豊福 一步								
合計		54	7	14	5	15	40	6

和歌山教員

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
1	* 山西 雄大	5	0	1	3	2	6	5
4	* 岡 秀吉 (C)	0	0	0	0	0	6	0
5	植山 善夫	-	-	-	-	-	-	-
6	南 尚樹	-	-	-	-	-	-	-
7	流川 英規	7	0	3	1	3	10	2
10	* 横矢 直人	16	3	3	1	1	6	7
11	大町 晋司	-	-	-	-	-	-	-
13	脇村 直弥	-	-	-	-	-	-	-
14	宮野 好史	-	-	-	-	-	-	-
16	* 高橋 雅彦	29	5	6	2	1	5	2
18	唐門 祥人	-	-	-	-	-	-	-
29	* 櫻井 翼	8	0	4	0	2	6	3
37	高山 尚也	-	-	-	-	-	-	-
39	桜井 怜	-	-	-	-	-	-	-
57	有田 啓介	-	-	-	-	-	-	-
コーチ 角谷 芳史								
合計		65	8	17	7	9	39	19

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

2回戦、岡山教員男子対和歌山教員。岡山ゾーン、和歌山マンツーマンで始まる。立ち上がり、岡山はバスワークからの合わせやドライブ、3Pで得点を取る。対する和歌山はハイポストも利用したバスワークからのアウトサイドシュートで得点を重ねる。両チーム譲らぬ攻防で残り時間3分で同点。終盤、和歌山#16のミドルシュート、3Pが連続して決まり、15-17和歌山リードで1ピリオド終了。2ピリオド岡山は開始早々#34の3Pで逆転。和歌山は岡山の厳しいディフェンスを崩せず、インサイドでのプレイができずアウトサイドシュートもリングに嫌われる。残り時間6分、岡山#34への和歌山#7のファウルがバスケットカウントとなり和歌山タイムアウト。#34はこれをしっかりと決めリードを広げる。終盤、ファウル後に2回目のタイムアウトをとった和歌山は#10の3P、#16のドライブとリズムを取り戻し、このピリオド初となる得点で追い上げをはかる。岡山は#34の3Pで応戦するが、その後も和歌山#16が3P、速攻からの得点と連続得点に成功し、27-27の同点で前半終了。

3ピリオド序盤、岡山はインサイドプレー、3Pで、和歌山はポストプレイで得点を重ねる。残り時間5分、岡山#8が和歌山からのファウルを上手く誘い、バスケットカウント。フリースローもしっかりと決める。その後も岡山の#8のミドルシュートが決まり、点差は7に。ここで和歌山タイムアウト。タイムアウト後早々に和歌山#16の3Pが2連続で決まり1点差に。残り時間2分、岡山は攻守の要である#8が負傷により交代。これを機に攻め込みたい和歌山だが岡山も引き続き厳しいディフェンス。44-41岡山の3点リードで最終ピリオドを迎えた。4ピリオド、開始早々和歌山は#16のフリースロー、#10のミドルシュートが決まり逆転に成功。岡山はタイムアウトをとる。タイムアウト後、岡山は#17、#34の活躍で追い上げを見せるが、和歌山は#29の連続ミドルシュート、#1のドライブ、速攻からの#16の得点で点差を広げる。しかし、再びタイムアウトをとった岡山が#34の3P、#16の得点で再び1点差に詰め寄る。和歌山もここでタイムアウト。その後も一進一退の攻防が繰り返されたが、#10の連続シュートや、フリースローをしっかりと決めての#1の加点により岡山を突き離し54-65で和歌山が準々決勝に駒を進めた。

逆転に次ぐ逆転で最後まで目の離せない白熱したゲームであった。

© 2014 和歌山県バスケットボール協会